

昭島市 市民意識調査

概要版

市民意識調査概要版は、平成 17 年 7 月に実施した「昭島市 市民意識調査」を要約したものです。

～ 調査の概要 ～

(1) 調査地域	昭島市全域
(2) 調査対象	満 16 歳以上の男女個人
(3) 標本数	1,000 人
(4) 抽出方法	層化二段無作為抽出法
(5) 調査方法	郵送留め置き - 訪問回収法
(6) 調査期間	平成 17 年 7 月 11 日 ~ 7 月 25 日
(7) 有効回収率	77.3%

～ 調査項目 ～

(1) 定住意向	(6) 地域活動・生涯学習
(2) 暮らしの満足度	(7) 都市景観
(3) 災害対策	(8) 男女共同参画
(4) 昭島の水道	(9) 市政・市役所
(5) 日常生活	

平成 17 年 10 月

昭 島 市

調査の結果

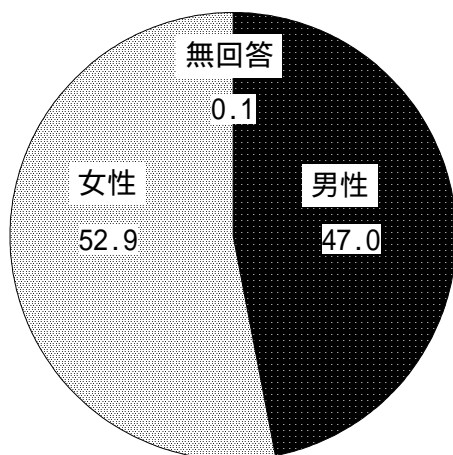
報告書を見る際の注意事項

- (1) 図、表中のnとは、回答者総数あるいは分類別の回答者数である。
- (2) 比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。四捨五入したため、百分比の合計が100%にならないことがある。
- (3) 複数回答の設問は、比率の合計が100%を超えることがある。

調査回答者の特性

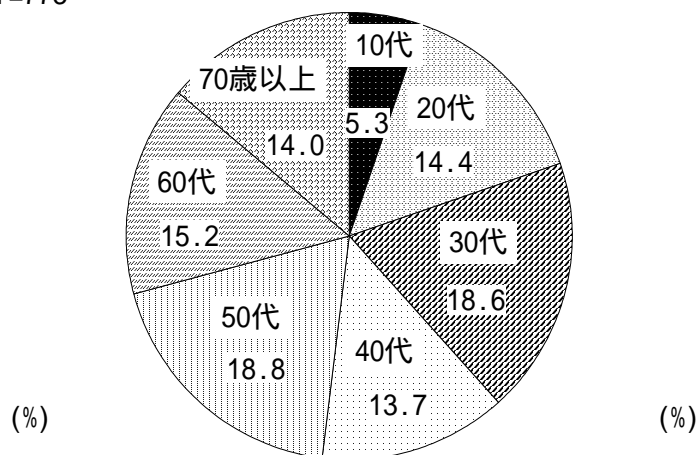
【性別】

n=773



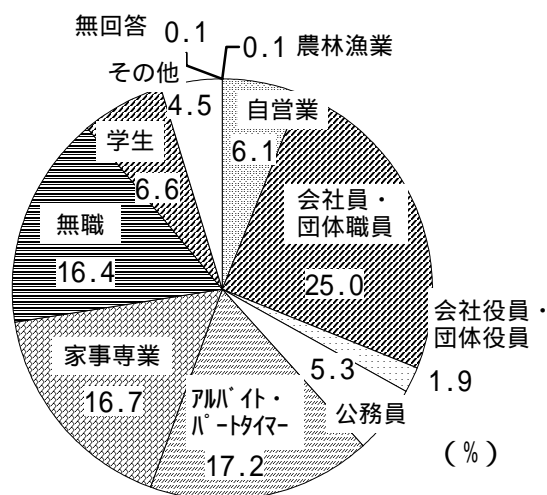
【年齢】

n=773



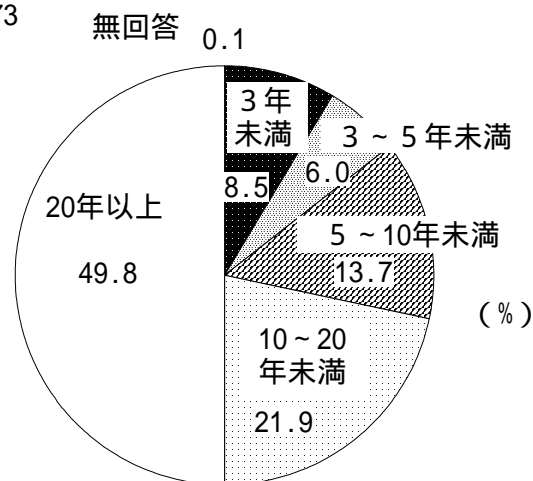
【職業】

n=773



【居住年数】

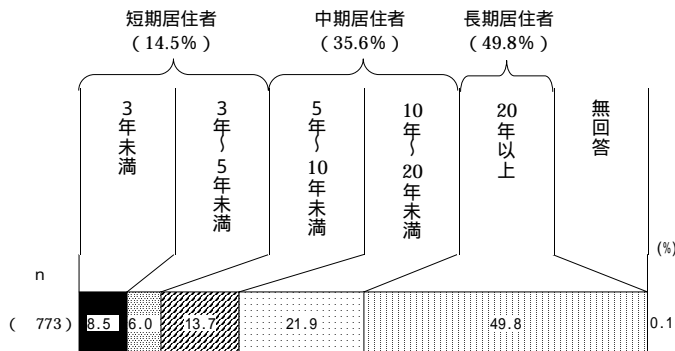
n=773



1 定住意向

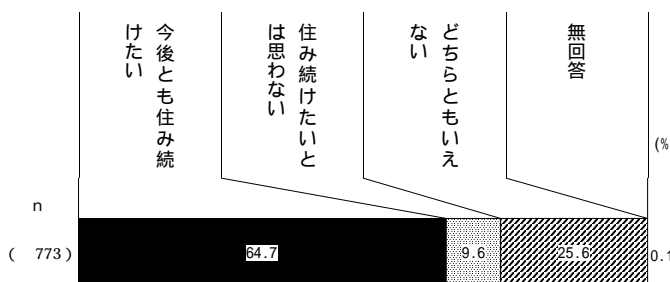
(1) 居住年数

居住年数が20年以上の長期居住者が約半数を占める。



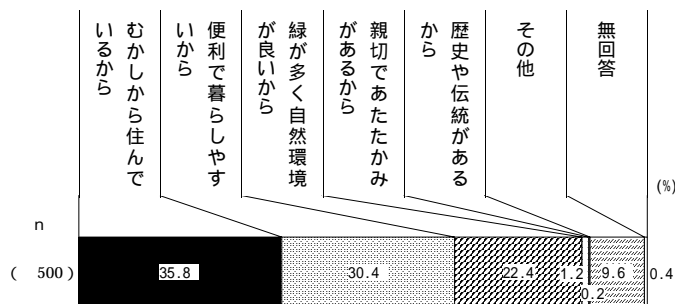
(2) 定住意向

「今後とも住みたい」が6割台半ばに近く最も高い。一方、「住みたいとは思わない」は1割弱となっている。



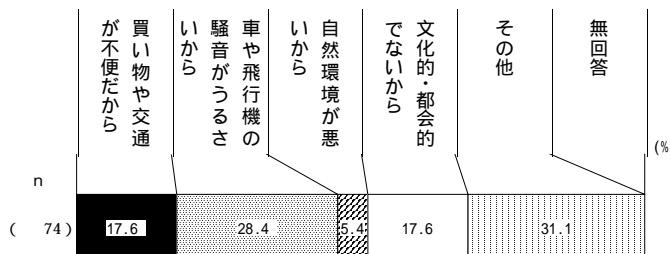
(3) 住みたい理由

「むかしから住んでいるから」が3割台半ばを超え最も高い。以下「便利で暮らしやすいから」が約3割、「緑が多く自然環境が良いから」が2割強と続いている。



(4) 住みたいとは思わない理由

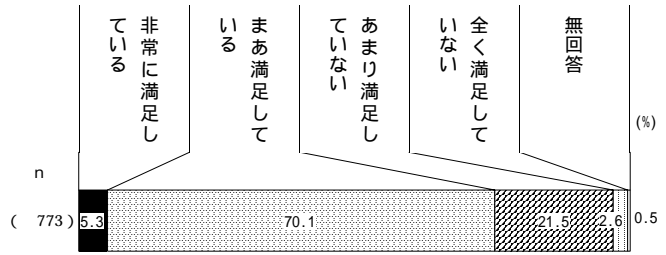
「車や飛行機の騒音がうるさいから」が3割に近く最も高い。次いで「買い物や交通が不便だから」「文化的・都会的でないから」が2割弱となっている。



2 暮らしの満足度

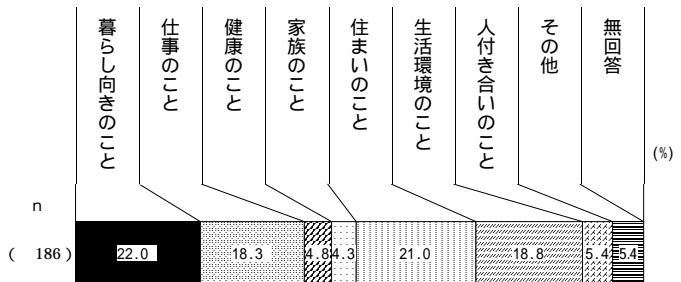
(1) 暮らしの満足度

「非常に満足している」と「まあ満足している」をあわせた『満足(計)』は4人に3人の割合となっている。



(2) 満足していない理由

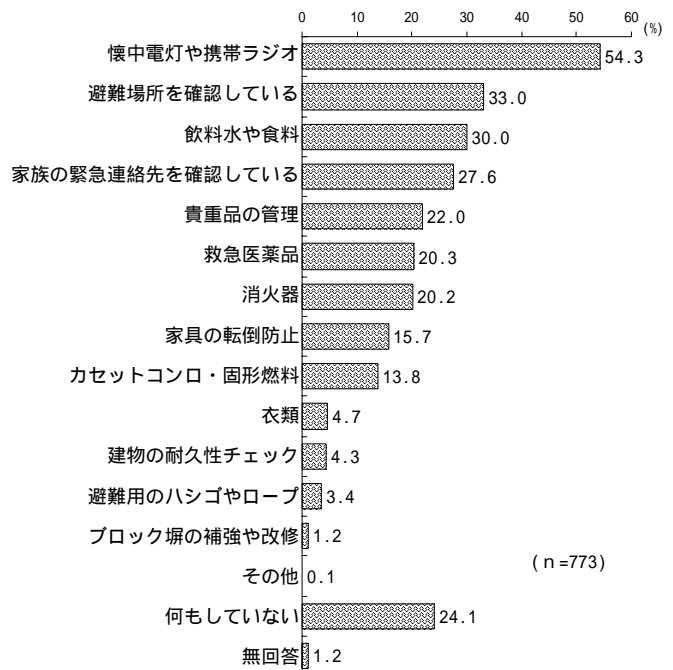
「暮らし向きのこと」が最も高く、次いで「住まいのこと」となっており、この2項目が2割を超える。「生活環境のこと」、「仕事のこと」が2割弱となっている。



3 災害対策

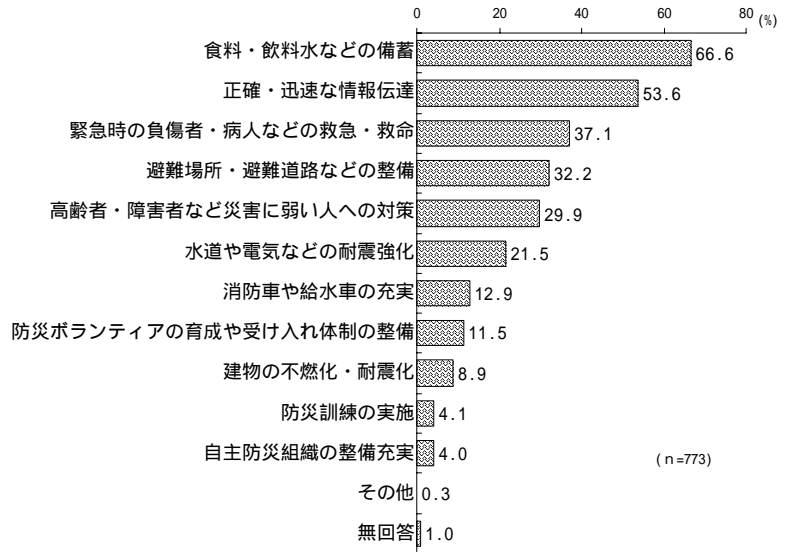
(1) 災害に対する備え

災害に対して日頃から備えていることは、「懐中電灯や携帯ラジオ」が5割台半ばに近く、唯一半数を超えている。以下、「避難場所を確認している」、「飲料水や食料」、「家族の緊急連絡先を確認している」と続いている。



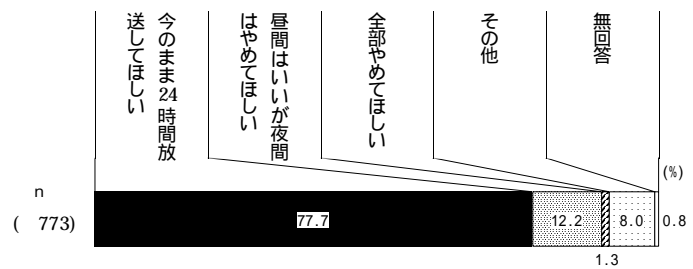
(2) 市の災害対策

「食料・飲料水などの備蓄」が6割台半ばを超え、3人に2人の割合で最も高い。次いで「正確・迅速な情報伝達」が半数を超えており、以下「緊急時の負傷者・病人などの救急・救命」、「避難場所・避難道路などの整備」と続いている。



(3) 火災放送の必要性

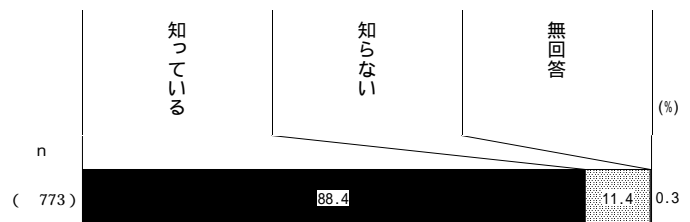
「今のまま24時間放送してほしい」が8割弱を占めている。次いで「昼間はいいが夜間はやめてほしい」が1割強となっている。



4 昭島の水道

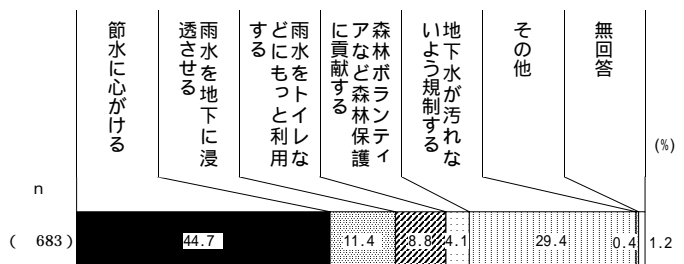
(1) 地下水であることの周知度

「知っている」が9割近くを占める。



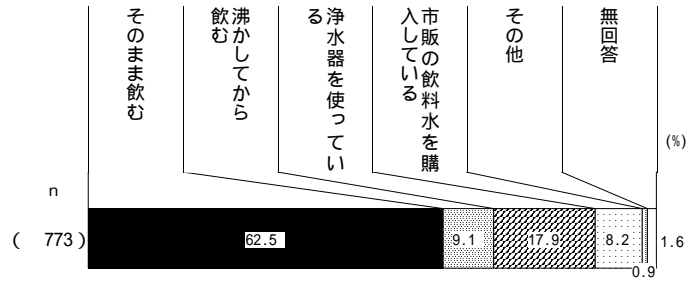
(2) 地下水を続けるために大切なこと

「知っている」と答えた人に対して、地下水のみの水道を続けるために必要なことを聞いたところ、「節水に心がける」が4割半ばで最も高い。次いで、「地下水が汚れないよう規制する」が約3割となっている。



(3) 水道水の飲み方

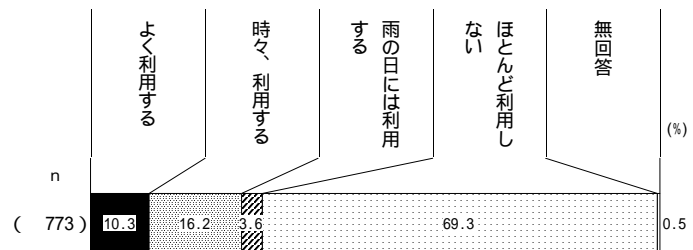
「そのまま飲む」が6割以上を占めている。次いで、「浄水器を使っている」が2割弱となっている。



5 日常生活

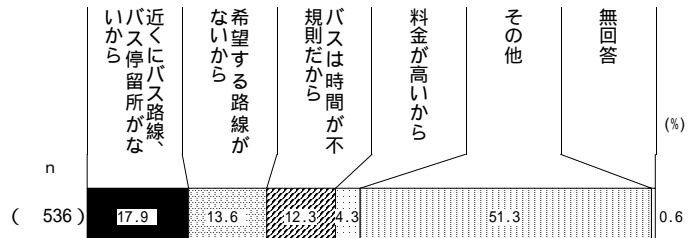
(1) バスの利用頻度

「よく利用する」、「時々、利用する」、「雨の日には利用する」を合わせた『利用する(計)』は約3割となっており、「ほとんど利用しない」が約7割を占める。



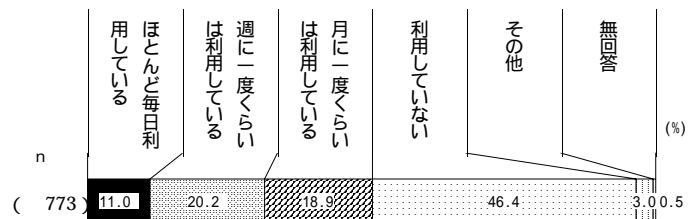
(2) バスを利用しない理由

「近くにバス路線、バス停留所がないから」が2割に近く最も高い。次いで「希望する路線がないから」、「バスは時間が不規則だから」が1割台半ば弱となっている。



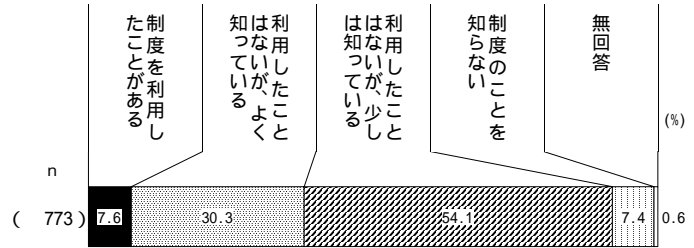
(3) 地元商店の利用頻度

「週に一度くらいは利用している」が約2割、「月に一度くらいは利用している」が2割に近い。一方「利用していない」は4割台半ばを超える。



(4) クーリングオフ制度の認知度

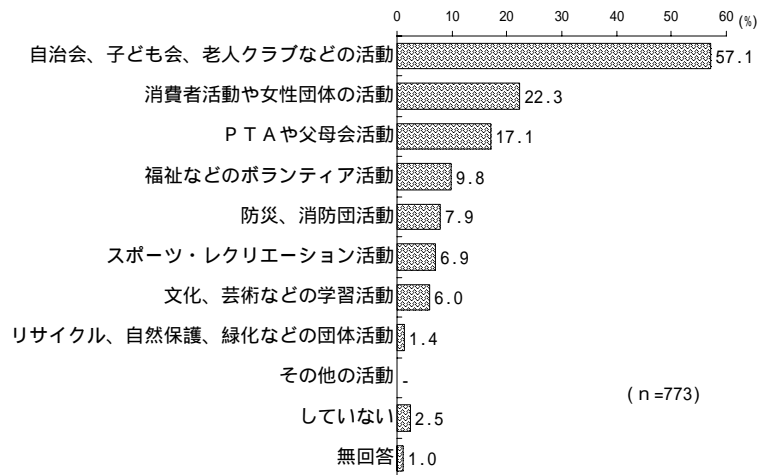
「制度を利用したことがある」、「利用したことはないが、よく知っている」、「利用したことはないが、少しは知っている」をあわせた『知っている(計)』が9割を超える。



6 地域活動・生涯学習

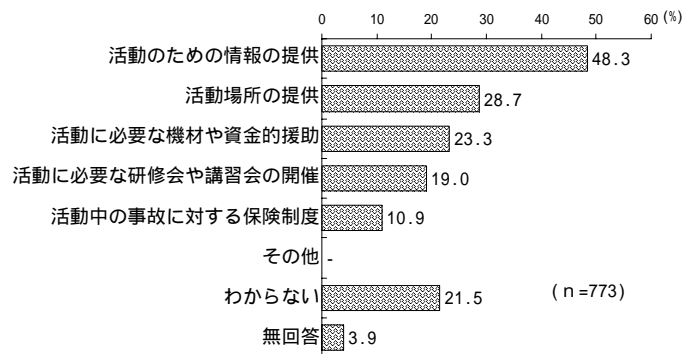
(1) 地域活動の状況

「自治会、子ども会、老人クラブなどの活動」が5割台半ばを超え突出している。以下「消費者活動や女性団体の活動」、「PTAや父母会活動」と続いている。



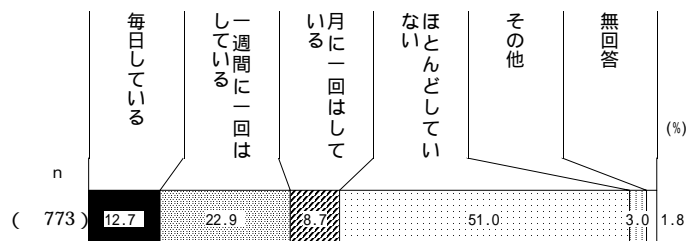
(2) 市民活動のために市が力を入れるべきこと

「活動のための情報の提供」が半数に近く突出している。以下「活動場所の提供」、「活動に必要な機材や資金的援助」と続いている。



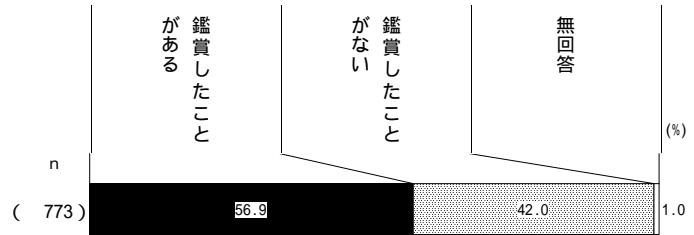
(3) スポーツやレクリエーションへの親しみ方

「一週間に一回はしている」が2割を超え、次いで「毎日している」が1割台となっている。一方、「ほとんどしていない」は半数を超える。



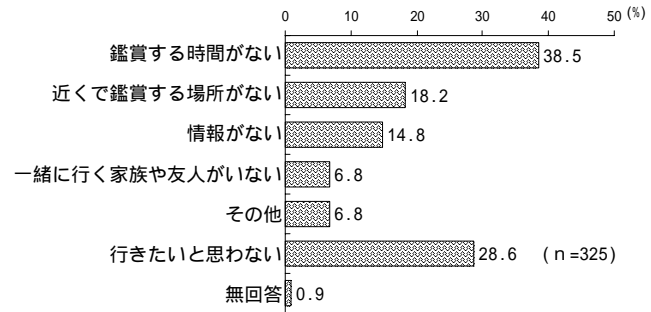
(4) 芸術鑑賞経験の有無

「鑑賞したことがある」が半数以上を占めている。一方、「鑑賞したことがない」は4割強となっている。



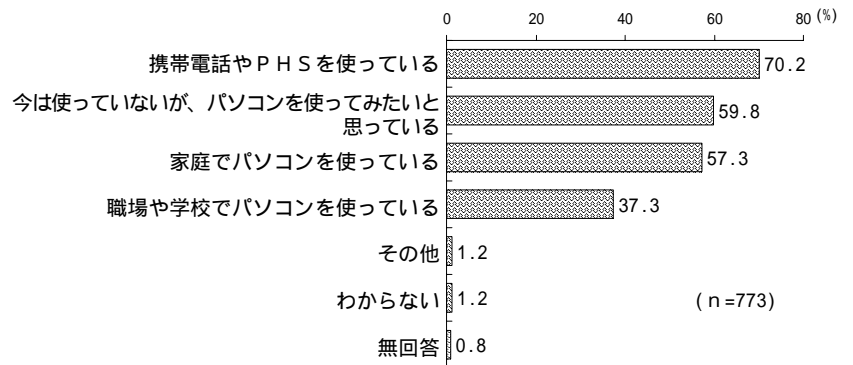
(5) 鑑賞しなかった理由

「鑑賞する時間がない」が4割に近く、最も高い。以下「近くで鑑賞する場所がない」、「情報がない」と続いている。また、「行きたいと思わない」は3割に近い。



(6) IT利用度

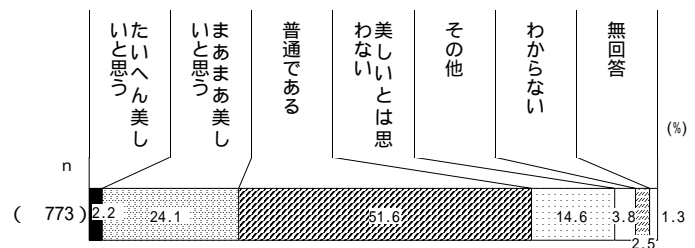
「携帯電話やPHSを使っている」が約7割で最も高い。以下「今は使っていないが、パソコンを使ってみようと思っている」、「家庭でパソコンを使っている」、「職場や学校でパソコンを使っている」と続いている。



7 都市景観

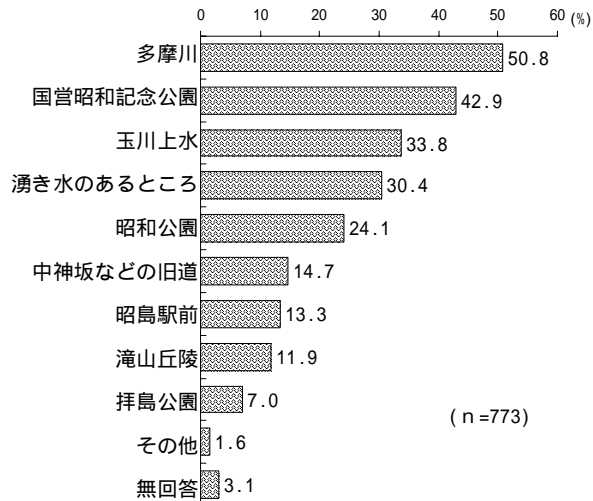
(1) 街並みの美しさ

「たいへん美しいと思う」と「まあまあ美しいと思う」をあわせた『美しいと思う(計)』が4人に1人の割合となっており、「美しいとは思わない」を12ポイント上回る。



(2) 昭島らしい街並みや景観

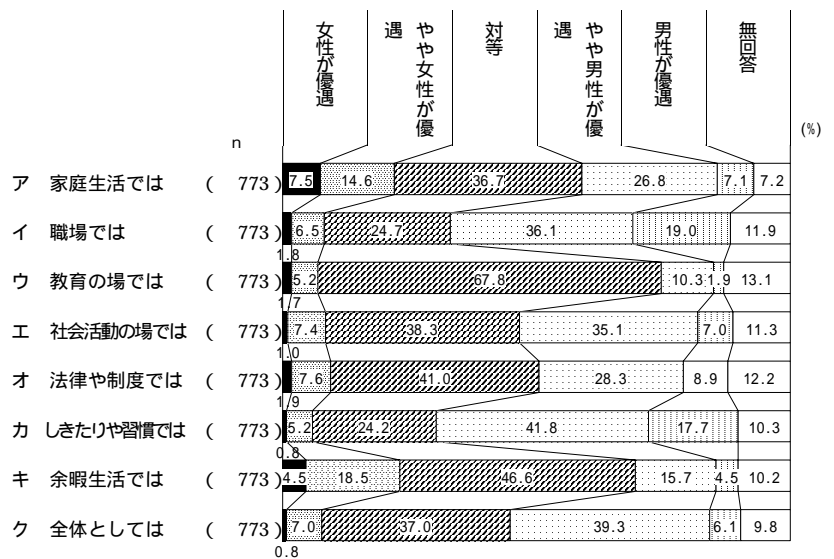
「多摩川」が半数を超え最も高い。以下「国営昭和記念公園」、「玉川上水」、「湧き水のあるところ」と続いている。



8 男女共同参画

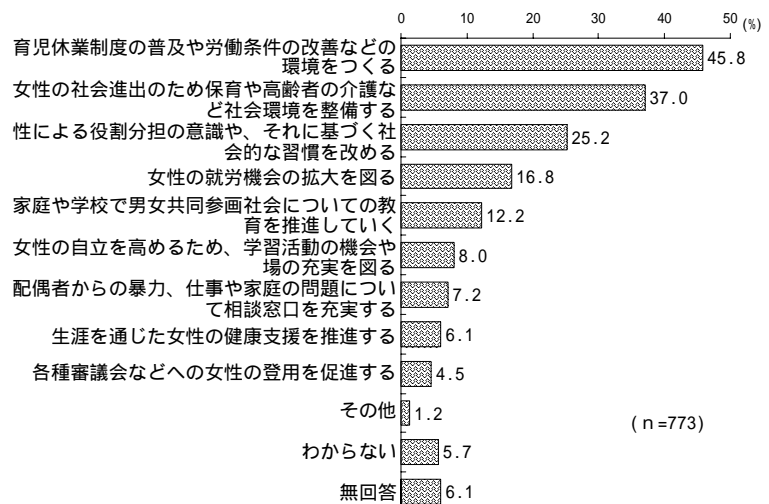
(1) 男女の地位

「対等」が「ウ 教育の場では」で7割に近く最も高くなっており、次いで「キ 余暇生活では」で4割台半ば強となっている。「女性が優遇」と「やや女性が優遇」をあわせた『女性が優遇(計)』では、「キ 余暇生活では」で2割台半ば弱と最も高く、次いで「ア 家庭生活では」で2割強となっている。「男性が優遇」と「やや男性が優遇」をあわせた『男性が優遇(計)』では、「カ しきたりや習慣では」で6割弱と最も高く、次ぐ「イ 職場では」で5割台半ばとなっている。



(2) 女性の社会参画や地位向上に必要なこと

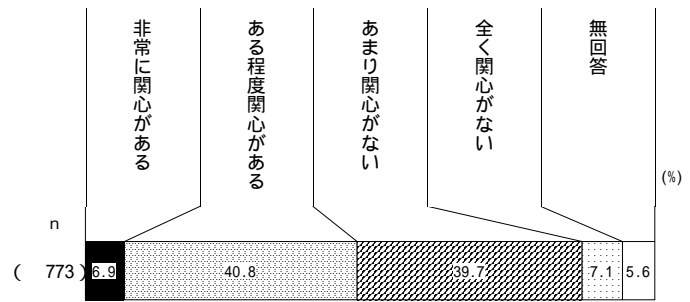
「育児休業制度の普及や労働条件の改善などの環境をつくる」が4割台半ばで最も高い。以下「女性の社会進出のため保育や高齢者の介護など社会環境を整備する」、「性による役割分担の意識や、それに基づく社会的な習慣を改める」と続いている。



9 市政・市役所

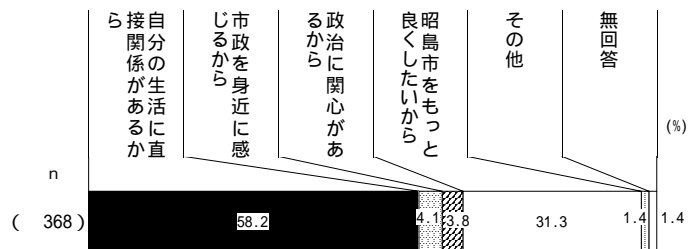
(1) 市政への関心度

「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」をあわせた『関心がある(計)』、「あまり関心がない」と「全く関心がない」をあわせた『関心がない(計)』は、ともに4割台半ばとなっており、あまり差は見られない。



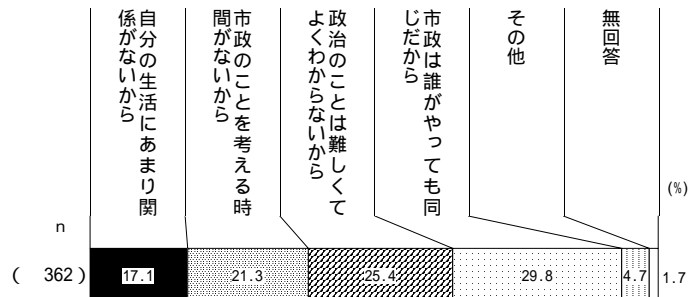
(2) 市政に関心がある理由

「自分の生活に直接関係があるから」が6割近くを占め最も高い。次いで、「昭島市をもっと良くしたいから」が3割強となっている。



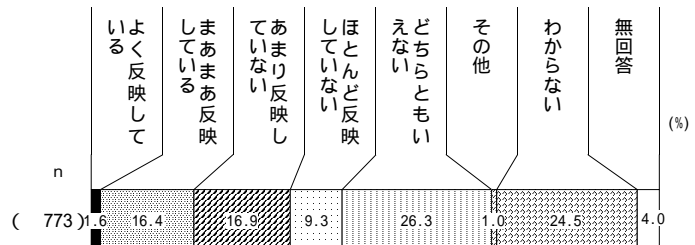
(3) 市政に関心がない理由

「市政は誰がやっても同じだから」が約3割で最も高い。以下「政治のことは難しくよくわからないから」、「市政のことを考える時間がないから」と続いている。



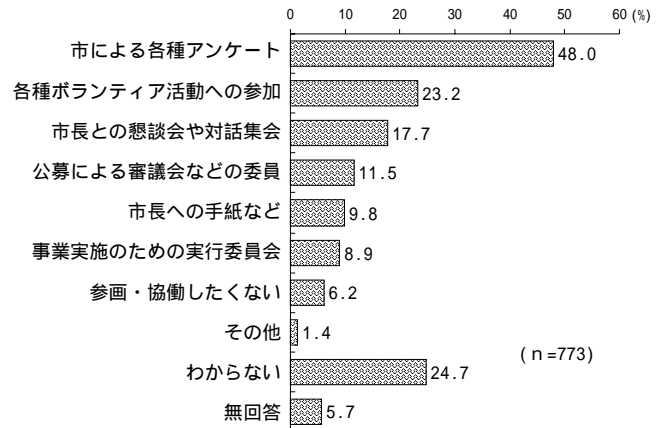
(4) 市民の声の市政への反映度

「よく反映している」と「まあまあ反映している」をあわせた『反映している(計)』は2割に満たない。一方、「あまり反映していない」と「ほとんど反映していない」をあわせた『反映していない(計)』は、4人に1人の割合となっている。また、「どちらともいえない」は2割台半ばとなっている。



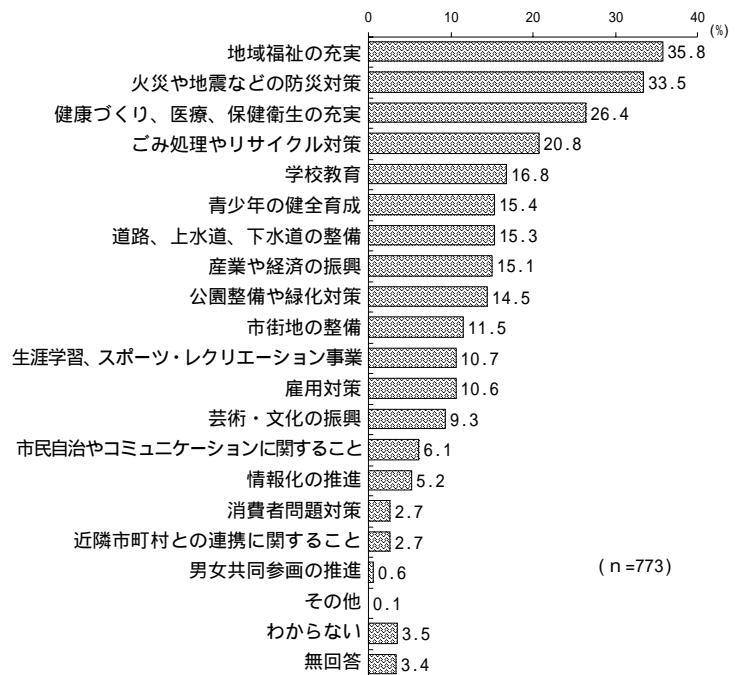
(5) 市政への参画・協働のための方法

「市による各種アンケート」が半数に近く突出して高くなっている。以下、「各種ボランティア活動への参加」、「市長との懇談会や対話集会」、「公募による審議会などの委員」と続いている。



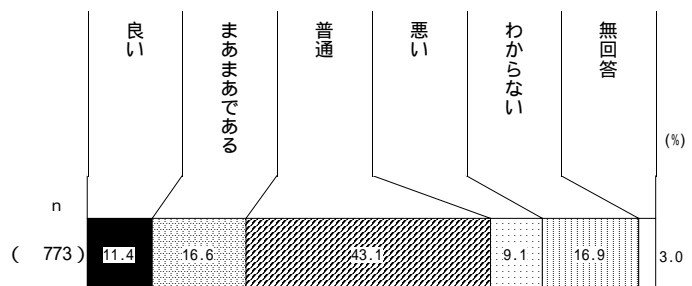
(6) 力を入れてほしい施策・事業

「地域福祉の充実」が3割台半ばを超えて最も高い。次ぐ「火災や地震などの防災対策」も3割台半ばに近い。以下「健康づくり、医療、保健衛生の充実」、「ごみ処理やリサイクル対策」と続いている。



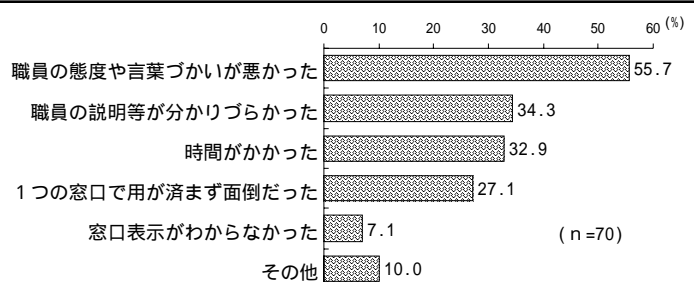
(7) 市役所の窓口サービス

市役所の窓口サービスに関しては、「普通」が4割を超え最も高い。次いで「わからない」、「まあまあである」が1割台半ばとなっている。「良い」、「悪い」はそれぞれ1割前後である。



(8) 窓口サービスが悪いと感じた理由

「職員の態度や言葉づかいが悪かった」が5割台半ばで最も高くなっている。以下、「職員の説明等が分かりづらかった」、「時間がかかった」、「1つの窓口で用が済まず面倒だった」と続いている。



昭島市 市民意識調査（概要版）

平成 17 年 10 月

発行 昭島市企画部秘書広報課
〒196-8511 東京都昭島市田中町一丁目 17 番 1 号
電 話 042 - 544 - 5111（代）

実施 株式会社サーベイリサーチセンター
〒116-8581 東京都荒川区西日暮里 2 丁目 40 番 10 号
電 話 03-3802-6711(代)